



Answer Key

解答・解説

Class _____ No. _____ Name _____

Reading Check

1. A 2. B 3. C 4. D 5. B 6. B 7. A 8. C

True or False: 1. T 2. F 3. T 4. F 5. T 6. F

Match

🔥 = fire 🎆 = fireworks 👑 = king 📄 = letter 🏮 = lantern 🍏 = apple 🧤 = gloves 🌙 = night

Unscramble

1. BONFIRE 2. PLOT 3. BARREL 4. LANTERN 5. RHYME 6. TORCH

Fill in the blanks

(1) November (2) hat (3) park (4) bonfire (5) guy (6) apple (7) fireworks (8) sky (9) rhyme (10) smiles

Sentence order

1. They wanted to blow up Parliament.
2. The guards found barrels of gunpowder.
3. People lit bonfires because the king was safe.
4. We watch fireworks on the fifth of November.
5. The word guy comes from his name.

Secret Code

REMEMBER NOVEMBER (11月 (5日) を忘れるな)

Maze — Secret word

PLOT

解説 (Reading Check)

1. A 本文は、1605年の陰謀が見破られ、その夜のたき火が毎年の行事になったことを中心に書いています。フォークスは王ではなく、花火の発明やルイスが首都だという話はありません。
2. B 第1段落に Under the wood were 36 barrels of gunpowder. とあります。手紙は貴族に送られたもので、地下で見つかったわけではありません。
3. C 第2段落に They were angry because Catholics were not treated fairly in England. とあります。ほかの理由は本文に出てきません。
4. D 第2段落に someone sent a letter to a lord ... The king's men searched the building, and the plan failed. とあります。火薬がしめっていた、雨が降った、という話はありません。
5. B lit bonfires to celebrate のすぐあとに The king was safe! とあり、うれしいできごとを祝ってたき火をしたことがわかります。
6. B 第3段落に、子どもたちが作る人形が guy と呼ばれ、This is where the English word guy comes from. とあります。夜は寒く (第4段落)、事件は1605年なので、ほかは誤りです。
7. A 第5段落に People remember a plan that never happened, and they use gunpowder to do it. とあります。火薬の陰謀を火薬 (花火) で記念するという皮肉が「不思議」の理由です。
8. C オリビアが guy はフォークスの名前から来たと言うと、ケンタは No way! I say guys every day. とおどろいています。たき火は huge (大きい) と言っています。



和訳（問題文）

- T/F 1. ガイ・フォークス・ナイトは11月5日だ。
- T/F 2. ガイ・フォークスは陰謀のリーダーだった。（リーダーはロバート・ケイツビー）
- T/F 3. 陰謀の仲間は議会を爆破しようとした。
- T/F 4. ボンファイア・ナイトはイギリスの祝日だ。（祝日ではない）
- T/F 5. 英語の guy はガイ・フォークスから来ている。
- T/F 6. 計画は成功し、国王は死んだ。（失敗し、国王は無事だった）
- Unscramble 1. BONFIRE＝たき火
- Unscramble 2. PLOT＝陰謀
- Unscramble 3. BARREL＝樽
- Unscramble 4. LANTERN＝ランタン
- Unscramble 5. RHYME＝わらべ歌
- Unscramble 6. TORCH＝たいまつ
- Order 1. 彼らは議会を爆破しようとしてしました。
- Order 2. 見張りは火薬の樽を見つけました。
- Order 3. 国王が無事だったので、人々はたき火をたきました。
- Order 4. 私たちは11月5日に花火を見ます。
- Order 5. guy という言葉は彼の名前から来ています。
- ... has seen fireworks this year＝今年、花火を見た
- ... likes ginger cake or ginger cookies＝ショウガのケーキかクッキーが好き
- ... can name the capital of the United Kingdom＝イギリスの首都を言える
- ... knows the meaning of the word plot＝plot という言葉の意味を知っている
- ... has been to a bonfire or a fire festival＝たき火や火祭りに行ったことがある
- ... uses the word guys in English＝英語で guys という言葉を使う
- ... knows a famous event from 1605＝1605年の有名な出来事を知っている
- ... likes toffee apples or candy apples＝トフィー・アップル、かりんごあめが好き
- If I went to Bonfire Night, I would _____ because _____＝もしボンファイア・ナイトに行ったら、私は_____したい。なぜなら_____だから。
- I think people still remember the Gunpowder Plot because _____＝人々が今も火薬陰謀事件を覚えているのは_____だからだと思います。
- One word I learned today is _____. It means _____.＝今日覚えた言葉の1つは_____です。意味は_____です。

全訳（Reading）

1 1605年11月5日の真夜中すぎ、ランタンを持った見張りたちが、ロンドンの国会議事堂の地下にある暗い部屋に入っていました。そこで彼らは、大きなまきの山の横にいる1人の男を見つけました。まきの下には、36樽の火薬がありました。男の名前はガイ・フォークスでした。

2 フォークスは13人の秘密のグループの一員でした。彼らは、イングランドでカトリック教徒が公平にあつかわれていないことに怒っていました。彼らの計画は、国王ジェームズ1世が中にいるときに議会を爆破することでした。しかし、だれかがある貴族に手紙を送り、近づかないよう警告しました。国王の部下たちが建物を調べ、計画は失敗しました。

3 その日の夜、ロンドンの人々はお祝いにたき火をたきました。国王は無事だったのです！やがて、11月5日は毎年の特別な日になりました。のちに、子どもたちはガイと呼ばれるフォークスの人形を作り、火で燃やすようになりました。英語の guy という言葉は、ここから来ています。

4 今、ボンファイア・ナイトはイギリスの寒くて明るい夜です。家族は暖かい帽子と手袋をつけて、公園の大きな花火大会に出かけます。トフィー・アップルや、パーキンというしっとりしたショウガのケーキを食べます。小さな町ルイスでは、何千人もの人が燃えるたいまつを持って行進します。

5 考えてみると、これは不思議な行事です。人々は、起こらなかった計画を思い出し、しかもそのために火薬を使うのです。毎年、子どもたちは今も、こんな有名な言葉で始まる古いわらべ歌を覚えます。覚えておけ、覚えておけ、11月5日を。



解答 (パズル)

Class _____ **No.** _____ **Name** _____



Answer Key (Advanced)

解答（発展セット）

Class _____ No. _____ Name _____

発展セット C1 : Comprehension

1. C 最後の文 Bonfire Night shows how a single historical event can carry very different meanings for different generations. が主旨で、本文は初期・その後・現代の3つの時代の意味を順に説明しています。1「花火を使う唯一の行事」は本文にありません。2は時代が合わず、グラフィックノベルはずっと後の話です。4は本文にない内容で、礼拝を義務づけた法律は1859年に廃止されています。
2. A 第1段落 the law requiring the commemoration was not repealed until 1859 が根拠です。1950年代はルイスの会が行進から締め出された時期、2005年は映画の年で、法律の廃止とは関係ありません。法律は廃止されたので4もちがいます。
3. D 第2段落 it was even shut out of the town's main procession because it refused to stop carrying the banner が根拠で、the banner は直前の No Popery banner を指します。1の花火、3のお面は本文でこの会と結びついていません。2のフォークスの人形を燃やすことは行事全体の伝統で、締め出された理由ではありません。
4. B 第3段落 worn by protesters who know little about the Gunpowder Plot から、多くの人が事件をよく知らないまま、抵抗のしるしとして顔を使っていると推測できます。1のルイスの会、3の法律の復活、4の11月5日だけという限定は本文から読み取れません。
5. A repeal は「（法律を）廃止する」。not repealed until 1859 は「1859年まで廃止されなかった」という意味です。続く第2段落で、その後の夜が家族の行事に変わっていく流れとも合います。made stronger（強化された）、written down（書きとめられた）、celebrated（祝われた）では文の意味が通りません。
6. C Few countries hold an annual festival to mark a terrorist attack that never happened は、「起こらなかった事件を毎年祝う」ことの珍しさを示して読者を引きつける書き出しです。1の花火の危険は本文にありません。2の「事件は本当ではなかった」は誤りで、起こらなかったのは爆発であって計画は実在しました。4のほかの国との比較は本文に出てきません。

発展セット C2 : Vocabulary

1-f (annual=毎年の、年に1度の) 2-g (hostility=敵意) 3-h (effigy=(人をかたどった)人形、像) 4-a (repeal=(法律を)廃止する) 5-b (fade=(しだいに)薄れる、消えていく) 6-c (controversial=議論を呼ぶ、賛否の分かれる) 7-d (procession=行列、行進) 8-e (reinvent=作り変える、新しい姿にする)

Paraphrase (例)

- At first, the day was clearly about politics and religion.
- Little by little, people stopped feeling so angry, and the night turned into a fireworks party for families.
- Although people burned dolls of him for hundreds of years, some people now see him as a hero.

Summary (例)

Britain celebrates a plot that failed. At first, the day was political and religious, and a law required it until 1859. Later, it became a family fireworks night, though Lewes still has a controversial banner. Today, Fawkes's face is a symbol of resistance, so one event can mean different things to different generations.

Advanced Reading 全訳

1 起こらなかったテロ攻撃を毎年祭りで記念する国はほとんどありませんが、イギリスが毎年11月にしていることは、本質的にはそれです。初期のころ、この日ははっきりと政治的で宗教的なものでした。議会の法律が教会に感謝の礼拝を義務づけ、祝いはしばしばカトリック教徒への敵意を表していました。フォークスの人形とともに教皇の人形も燃やされ、記念を義務づける法律は1859年まで廃止されませんでした。

2 時がたつにつれ、その敵意の多くは薄れ、この夜は花火を中心とした家族の行事になりました。ただし、今も議論を呼ぶ伝統もあります。ルイスでは、ある会が今も「教皇反対」の旗を掲げて行進しています。1950年代には、旗をやめることを拒んだため、町の合同行進から締め出されたことさえありました。

3 一方で、フォークス本人の姿も作り変えられてきました。グラフィックノベルと2005年の映画のおかげで、図案化された彼の顔は抵抗の世界的なシンボルとなり、火薬陰謀事件をほとんど知らない抗議者たちにかぶられています。何世紀も人形として燃やされてきた男が、今では一部の人にとって英雄なのです。ボンファイア・ナイトは、1つの歴史上の出来事が、世代によってまったく違う意味を持ちうることを示しています。